

平成25年度 第2回地域家庭教育推進県北ブロック会議

日時:平成26年1月24日(金)

場所:ふくしま中町ビル

福島県教育委員会では、家庭における子どもをはぐくむ環境づくりや地域の教育力の向上に向けて、実践的な取組をするため、平成23年度より「子どもをはぐくむ地域実践プロジェクト」を推進しております。各教育事務所単位で「地域家庭教育推進ブロック会議」を設置し、各地区での家庭教育の推進の在り方を協議してまいりました。

今年度、県北地区では、学校・PTA・地域の子どもに関わっている諸団体が効果的に連携し、子どもの生活習慣の向上に向けた実践的な取組の推進を図るよう呼びかけてまいりました。第2回の会議では、今年度のブロック会議の取組を振り返るとともに、今後の家庭教育の推進の在り方について話し合いました。

今年度の取組の経過とセミナーについての報告



- 今年度の取組の経過
 - ・ 地区PTA連絡協議会へ出向いての働きかけ
 - ・ 地域の子どもに関わっている諸団体・組織への働きかけ
 - ・ 各学校PTAへ「子どもの生活習慣の向上を図るための連携した取組のバージョン・アップ!」と題した取組推進を呼びかけたチラシの配付
- 地域家庭教育県北ブロックセミナーの実施
 - ・ 講演「学校と家庭と地域が連携して育む子どもの未来」
講師 千葉大学名誉教授 明石要一氏
 - ・ 事例発表 (①富田小②月館中③松陵中)
 - ・ 分科会 (①食育②生活時間の見直し③あいさつ・規範意識)

各学校PTAの生活習慣の向上に向けた取組状況の調査結果から

- 12月に各学校PTAでの生活習慣の向上を図るための取組状況を調査しました。その結果から、以下のことが明らかになりました。
 - ・ ほとんどの学校PTAで子どもの生活習慣の向上を図った取組を子どもや地域の実態に応じて実施している。
 - ・ 幼稚園や保育所・小・中学校との連携やPTA・地域との連携を図ることで、効果を高めている事例が増えてきている。
 - ・ これまで取り組んできた実践を見直したり工夫をしたりして、効果を高めている事例も増えてきている。

今後の家庭教育の推進に向けて

- 今年度は、子どもの生活習慣の向上を図るための取組の推進として、県北域内の地区PTA連絡協議会や教育長会、校長会、子どもに関わっている諸団体へ直接出向いて呼びかけたり、取組推進のチラシを各学校PTAに配付したりしたことで、少しずつではあるが、各学校PTAの意識が次第に高まってきている。今後も継続して働きかけることが大切である。
- 12月の調査結果からも各学校PTAにおいては、「今行っている連携した取組を『見直したり、視点を変えたり、少し工夫を加えたり』することで効果を高めていくこと」というブロック会議での呼びかけを受け止め、改善を図っている学校PTAが次第に増えてきており、今後もさまざまな場で継続して呼びかけていくことが大切である。
- 12月8日のブロックセミナーでは、県北域内より多数のPTA関係者に参加していただき、講演や連携実践発表、研究協議を通じて、子どもの生活習慣の向上に向け、その推進を図らなければならないという意識を高めることができた。今後もPTA関係者などの意識を高めたり啓発を図ったりする機会が必要である。
- 社会状況の急激な変化による子どもへの影響は、今後も懸念されるところである。子どもに関わる問題は、学校だけ、家庭だけで解決できるものではない。子どもの生活習慣の向上を図るための学校・家庭・地域の連携した取組が大切であり、継続して呼びかけていかなければならない。